

初島テニス会

塩川明男 (6組)

10月23日(水)、熱海集合。参加者は幹事の布施修一郎君(6組)を始め、関賢治(2組)、原田義則(3組)、佐藤徹郎(7組)、宮澤憲一(10組)の各氏と内堀信(6組)夫妻と筆者の合計8名。昼食後、熱海港より初島行の船で出発。23分の短い航海ながら船という事で、船酔いの心配する仲間もいたが、上部甲板で揺れを楽しみながら去り行く熱海の街を眺めているうちに全員無事に到着。

さてテニス会といいながらレポ当番を仰せつかった筆者はテニスは出来ず、夜の宴会目的の参加ゆえ、レポ内容に偏りの出るのはご容赦願いたい。

天気予報は午後から雨となっており、覚悟をしていたが運良く外れてテニス組はコートへ。筆者は島の湯へ。宿から徒歩10分の海岸淵にあり露天風呂からの眺めは最高。クールベの絵を思いながら30分ほど湯に浸る。遠くに漁船、空にはトンビが、丸い地平線を愛でながら自然に溶け込んで時間を過ごす。

宿はいつものエクシブで、食事は恒例の旨い中華料理。先ず乾杯は生ビールからだが、湯上りで待ちきれずに飲んでしまった輩はドラゴン割り。何?ドラえもん割り?

なんのことはない紹興酒のソーダ割で、割れば良ってもんじゃない程度の代物ながら、兎に角、宴はスタート(次ページに写真)。

1時間目は歴史。お決まりの誰それは・・・で、

2時間目は芸術で女優を論ずる。吉永小百合は演技が下手、大竹しのぶは味がある、でも嫌い。内堀夫人の辛口批評。往年のサユリストの心境や如何に?

3時間目は英語。通常フルーツの名称は単数だがブドウはGRAPESと複数になる。いや、昔巨峰なる種は粒がデカイので一粒で売っていた。それはGRAPEだろう。その通りなのだが通常は房になっており、やはりGRAPESである。ではJAWSはなんだ・・・?それはだな…と歯医者さんがコメント。

4時間目は理科。温度が酒に与える影響。少し高めの紹興酒を先ず瓶ごとお爛。あっという間に空けてしまい2本目に。お爛に時間がかかるというのでそのまま、と始めたがやはりお爛の方が旨いと、残りを爛で楽しむ。

さて翌日は晴れてテニスの本チャンマッチ。その報告は後にして小生は島めぐりへ。初島は海底が隆起して岩石で構成された小さな島故、一周歩いて1時間かからず、江戸城修復にも石を供給した石切り場があり、砂浜は一切なし。レジャーパークがあり一日過ごせるので、ダイビング・釣り以外は熱海からの日帰り観光が中心と思われる。船着き場の近くに10数件の食堂が軒を連ねる。もちろん売りは鮮度の良い魚。

住民は40戸200人ほどで昭和42年に海底電線が施設されるまで島民は不自由を強いられた由。ログハウスの近代的な小中学校があるが、高校は島外に。

さてテニス組は望外の好天の下で文字通りの熱戦？を繰り広げ、1位 関君、2位 宮澤君となった由。そして内堀夫人の一言。「昔の主人のテニスはもっとカッコ良かった」そうです。皆さん後期高齢者です。ご主人だけではありません。

次回も元気で集まりましょう！ （2024年11月2日記）



まずは乾杯！

左下から時計回りに
佐藤、塩川、関、原田、
宮澤、布施、内堀夫妻

戦い終えて？

